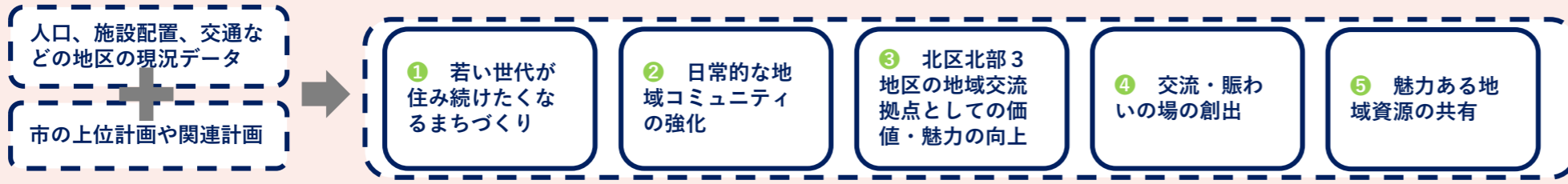


現況分析



まちづくり基本方針

基本理念	～誰もが暮らしやすく笑顔あふれるまち～		
目指すまちの将来像	暮らしを支えるまち	つなぎを紡ぐまち	魅力を創造するまち
まちづくりの方針	①住まいを豊かにする ②にぎわいをつくる	③まちの資源を活かす ④回遊性をつくる	⑤土地利用や街並みを考える ⑥まちを活用する活動

分類	◆地域住民の意向 ●事業者ヒアリング	●協議会/●委員会/●傍聴者アンケートでのご意見	まちづくりの方向性
<b>地区全体</b> ①住まい ④回遊性	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活利便性の高いまちづくり (H28WS)</li> <li>●生活者・来訪者にとって快適な移動環境づくり (H28WS)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「生活利便機能が整っている町」をウリにして、その特徴を強化すべき</li> <li>●東西の行き来を促す仕掛けは必要</li> <li>●各エリアに人が集まれる場所があると人の流れができる。</li> </ul>	<b>【考え方】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各エリアにバランスよく機能を配置し東西一体の拠点を形成</li> <li>●東西市街地の回遊性の向上 (社会基盤整備による効果)</li> </ul>
<b>駅前エリア/駅前街区</b> ①住まい ③まちの資源 ⑤土地利用や街並み ⑥まちを活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コンセプトや役割に関すること</li> <li>●生活利便性の高いまちづくり (H28WS)</li> <li>●市街地の高度利用で機能性の高い土地利用 (H28WS)</li> <li>●人々が集い交流する場づくり (H28WS)</li> <li>●地域の多様な世代が交流する場の創出 (H30アンケート)</li> <li>◆特定の機能、施設等に関すること</li> <li>●日常的な買い物施設、飲食施設、公益施設 (H29アンケート)</li> <li>●飲食店、温浴施設、スーパー、コンビニ (H30アンケート)</li> <li>●飲食店や小型商業は、5年以上先のことは検討できない</li> <li>●多世代で交流できる広場 (H29アンケート)</li> <li>●道路条件が良くないため、進出可能な業態は限られる (高齢者向け住宅、スポーツクラブ、診療所など)</li> <li>●歴史文化の発信や自然体験を行う場づくり (H28WS)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆特定の機能、施設等に関すること</li> <li>●歩いて行ける距離にコンビニやスーパー的な小さな機能が必要</li> <li>●公共施設を集約・複合化するとともに災害時の避難場所としてほしい</li> <li>●いろんな団体が順次使える広場が欲しい</li> <li>●多目的広場や公園など市民が集える場も必要。</li> <li>●商業施設の誘致には、商圏に一定の人口があることが大前提</li> <li>●若い世代に入ってもらうために住宅が必要</li> <li>●伝統や文化を伝えるスペースが必要</li> </ul>	<b>【コンセプト】</b> 暮らしに必要な機能と人々の交流機能により魅力的な駅前を演出 <b>【求められる役割】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活利便施設などの立地により駅および周辺施設の利便性向上</li> <li>●地域のコミュニティ形成に寄与する交流空間の創出</li> <li>●地域の資源を活かした活動・取組の醸成</li> </ul> <b>【期待する機能の例】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●買い物施設や飲食店などの商業機能</li> <li>●多世代が集まり交流できる機能</li> <li>●生活利便性が高い駅前居住機能</li> <li>●交流の拠点にふさわしい地域の情報発信機能</li> </ul> など <b>【駅前街区に期待する中心となる機能】</b> 駅前の生活利便性を向上する機能/地域コミュニティの拠点となる機能  <b>【展開方針】</b> 駅前街区は地区の玄関口に位置することから拠点機能の向上  <b>【配慮事項】</b> 市の都市計画やまちづくり関連方針への配慮 その他地域意見の反映 (夜間の安全安心の確保など)
<b>東エリア/市有地</b> ①住まい ②にぎわい ⑤土地利用や街並み ⑥まちを活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コンセプトや役割に関すること</li> <li>●学生や若い方々が住みたくなる環境づくり (H28WS)</li> <li>●子育てしやすい環境づくり (H30アンケート)</li> <li>●市街地の高度利用で機能性の高い土地利用 (H28WS)</li> <li>●生活利便性の高いまちづくり (H28WS)</li> <li>◆特定の機能、施設等に関すること</li> <li>●温浴施設、飲食店、スーパー、ホームセンター (H30アンケート)</li> <li>●幹線道路沿いという立地を生かした機能 (ホームセンター、薬局、コンビニ、スポーツクラブ、温浴など)</li> <li>●総合病院 (H30アンケート)</li> <li>●高度医療施設と職員住宅</li> <li>●運動施設 (H30アンケート)</li> <li>●人々が集い交流する場づくり (H28WS)</li> <li>●A、B街区は幹線道路に面して長く接道しており、商業向け。一方でC街区は形状が良くないため商業立地に適さない可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コンセプトや役割に関すること</li> <li>●商業施設の誘致には、商圏に一定の人口があることが大前提</li> <li>●人口を流出させないための取組は必要</li> <li>◆特定の機能、施設等に関すること</li> <li>●温浴施設があってもいい</li> <li>●東エリアは飲食店が少ない。カフェなど集える場所もあるとよい</li> <li>●大きな医療・福祉系施設が進出意向を示しているのであれば、実現するよう進めてほしい</li> <li>●業務施設が立地すると、人が増えてコンビニ等も出来るのではないか</li> <li>●土地の活用にはタイミングも重要。ある程度人を呼べる施設が大事なので高度医療施設は望ましい</li> <li>●商店街祭り等のイベントを行う空間が手狭なので、大々的に行える場所が欲しい</li> <li>●集える場所を東エリアに作る必要がある</li> </ul>	<b>【コンセプト】</b> 多様な機能の集積により多くの人々が活動し、地域の活力源となるエリア <b>【求められる役割】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●住みたくなる・住み続けたくるまちとなるための魅力創出</li> <li>●多様な活動と生活の受け皿となり地域の活力を向上</li> </ul> <b>【期待する機能の例】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●休日などに家族で利用できる商業・レジャー機能</li> <li>●子育て世代をサポートする/子育て世代が交流できる機能</li> <li>●若い世代をはじめ就労者や学生を地域に呼び込める業務・教育機能</li> <li>●周辺環境と連携した医療・福祉機能</li> <li>●多世代の健康増進に寄与する機能</li> <li>●オープンスペースなどの広場・交流機能</li> </ul> など <b>【市有地A・B・Cに期待する中心となる機能】</b> まちに活力を生む業務・教育機能/家族で利用できる商業機能  <b>【展開方針】</b> 地区の活力・魅力の向上により関係人口・定住人口増加につながる利活用を民間活力を導入して展開/地域交流拠点にふさわしい公共貢献を誘導  <b>【配慮事項】</b> 周辺環境との連携・調和/導入する機能に応じた都市計画手続き、規制緩和の導入
<b>地域主体のまちづくり活動</b> ②にぎわい ③まちの資源 ④回遊性 ⑥まちを活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動の方針に関すること</li> <li>●多世代が交流できる場づくり (H29アンケート)</li> <li>●人々が集い交流する場づくり (H28WS)</li> <li>●歴史文化の発信や自然体験を行う場づくり (H28WS)</li> <li>●篠路の重要な自然資源である水と緑を体感できるまちづくり (H28WS)</li> <li>●まちと地域の企業や事業者がつながる関係づくり (H28WS)</li> <li>◆活動・取組のイメージに関すること</li> <li>●フリマ、野菜の直売イベント (H29アンケート)</li> <li>●地域のお祭りやイベントでの利用 (R3社会実験)</li> <li>●子どもたちが楽しく元気に遊びまわられる場づくり (H28WS)</li> <li>●健康づくりの活動、気軽に利用できる運動の場 (H29アンケート)</li> <li>●休憩、くつろぐ場所 (R3社会実験)</li> <li>●多世代が交流できる場づくり (H29アンケート)</li> <li>●歴史文化の発信や自然体験を行う場づくり (H28WS)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動の方針に関すること</li> <li>●まちを担っていく学生にご協力いただき、まちをフィールドに発表してもらってもいい</li> <li>●「昭和の街並み、赤煉瓦倉庫のある景色」などポジティブに捉えて強みとして活かすことが必要</li> <li>●新しく活動する人の受け皿となるような勉強会があるとよい</li> <li>●広場や交流空間の運営についてスクール形式やWS形式などで、主体者を増やすための学びの場を企画</li> <li>●地域や商店街に協力してもらえるとよい</li> <li>◆活動・取組のイメージに関すること</li> <li>●地元特産品の即売会、篠路にある飲食関係の出店があるとよい</li> <li>●コミュニティガーデンや旧琴似川を地域資源として活用したい</li> <li>●ヘルシーウォーキングのようなおもてなしと地域の回遊を絡めたイベント</li> <li>●飲食しながら、地元の子供たちの日ごろの活動 (篠路太鼓、歌舞伎など)、演劇や軽音の発表など文化的な催しができると理想</li> <li>●高齢者が遊んだり交流できる場が必要</li> <li>●篠路神社の獅子舞や藍染など地域の文化を伝える取組ができるとよい</li> </ul>	<b>【活動の方針】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①多世代が交流する笑顔あふれるコミュニティを創出する</li> <li>②歴史、文化、自然を有効活用する</li> <li>③持続できるまちづくり体制を構築する</li> </ol> <b>【活動・取組のイメージ】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の魅力を活かしたにぎわい創出</li> <li>●自然や歴史を活かした回遊性の向上</li> <li>●子育て世代や高齢者のコミュニティの場の形成</li> <li>●伝統や文化の伝承・学びの場づくり</li> </ul> これらを踏まえながら、駅前街区や市有地にて、にぎわい・交流の場の創出と地域主体での活用を目指す

利便・交流ゾーン

にぎわい・交流・福祉ゾーン



### ① まちづくりワークショップ（H28年度）

#### ■概要

- ・10年後の篠路の将来像を考えるために意見やアイデアを出し合い、篠路の未来を描いた。（計5回）
- ・ワークショップの最終成果物として「みんなの想い」を作成。

将来像	広域の篠路地区 ～誰もが暮らしやすく笑顔あふれるまち～		
	篠路駅周辺地区 暮らしを支え、つなぎの起点となり、篠路の魅力を育み伝える機能の集約した拠点		
3つの機能像	暮らしを支えるまち	つなぎを紡ぐまち	魅力を創造するまち
6つのまちづくりの視点	①住まいを豊かにする ②にぎわいをつくる	③まちの資源を活かす ④回遊性をつくる	⑤土地利用や街並みを考える ⑥まちを活用する活動

- まちづくり方針
- ①安全安心なまちづくり、学生や若い方々が住みたくなる環境づくり、生活利便性の高いまちづくり
  - ②まちと地域の企業や事業者がつながる関係づくり、魅力的な個店が並び魅力的なサービスが提供されるまちづくり
  - ③歴史文化の発信や自然体験を行う場づくり、様々な地域資源情報を発信できる駅前環境づくり
  - ④篠路の重要な自然資源である水と緑を体感できるまちづくり、生活者・来訪者にとって快適な移動環境づくり
  - ⑤緑や花あふれる沿道景観づくり、市街地の高度利用で機能性の高い土地利用、人を魅了する街並みづくり
  - ⑥人々が集い交流する場づくり、子どもたちが楽しく元気に遊びまわれる場づくり、地域の祭事や物販など多様なイベントを開催する場づくり

### ② みんなの想い取りまとめ会議（H29年度）

#### ■概要

- ・「みんなの想い」に取りまとめた内容をどのように次のステップに移していくかを検討。（計3回）
- ・篠路コミセンで実施していた「しのろ紙袋ランタンまつり」を駅前通で開催。

### ③ 住民アンケート（H29年度）

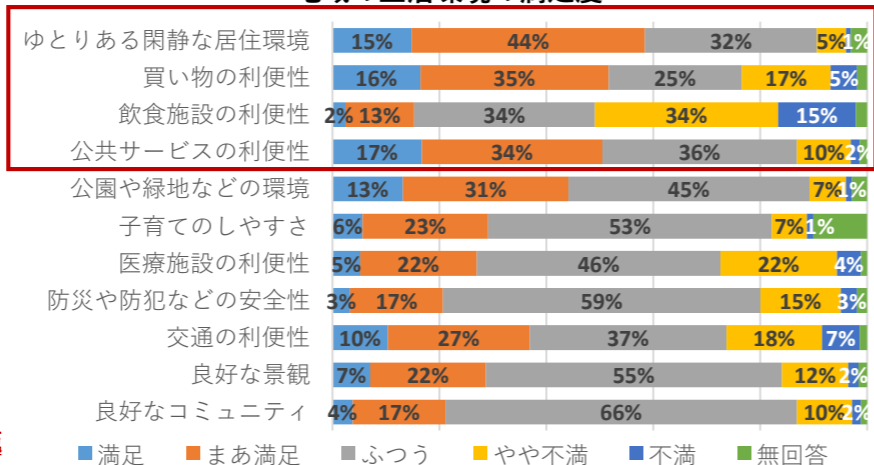
#### ■調査概要

- ・広域の「篠路地区」（篠路1条～10条）に住む18歳以上の住民約1,300名（無作為抽出）を対象
- ・『篠路駅周辺地区が目指すべきまちづくりの方向性』について、地域住民がどのように考えているかを調査し、地区のまちづくりを進めるにあたって基礎資料とするために実施。

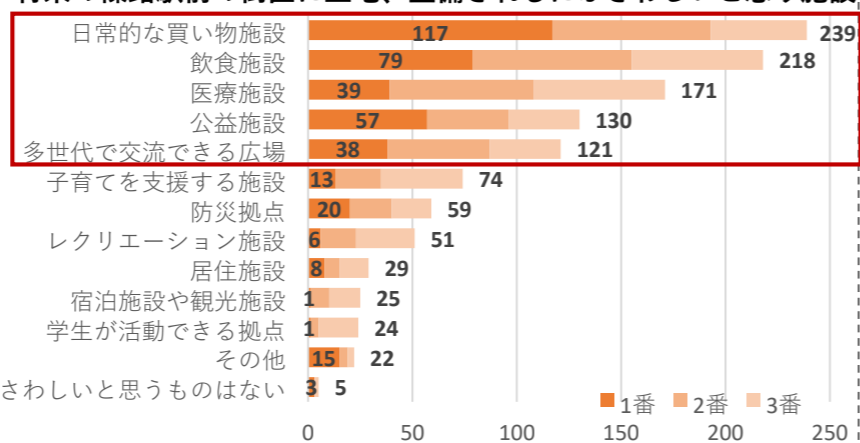
#### ■アンケート結果（主要な項目を抜粋）

- ・**地域の生活環境の満足度**
  - 「満足」と「やや満足」の合計が過半数を占めたのは「ゆとりある閑静な居住環境」、「買い物の利便性」、「公共サービスの利便性」
  - 「不満」と「やや不満」の合計が半数近くに達したのは、「飲食施設の利便性」
- ・**将来の篠路駅前の街区に立地・整備されるにふさわしいと思う施設**
  - 1番から3番のいずれかに選ばれた施設の上位5項目は「日常的な買い物施設」、「飲食施設」、「医療施設」、「公益施設」、「多世代で交流できる広場」
- ・**これからの篠路での市民によるまちづくり活動に期待すること**（5選択肢から複数回答）
  - 上位2項目は「良好な街並み景観を維持」、「多世代が交流できる場づくり」

地域の生活環境の満足度



将来の篠路駅前の街区に立地・整備されるにふさわしいと思う施設



### ④ 住民アンケート（H30年度）

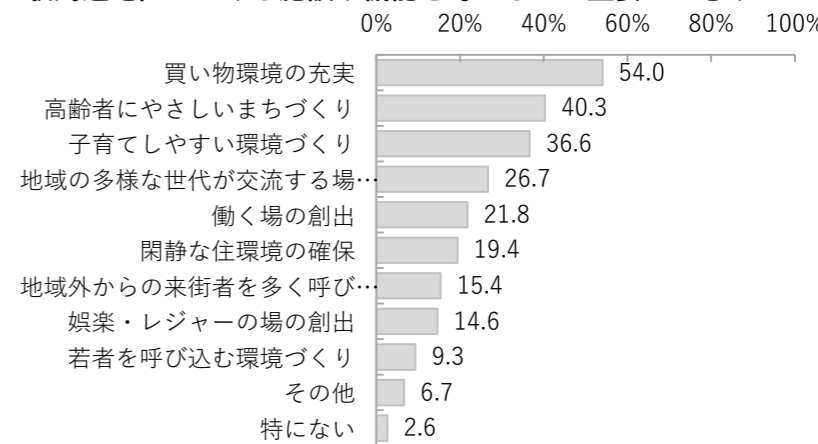
#### ■調査概要

- ・北区北部（篠路茨戸地区、拓北・あいの里地区、太平百合が原地区）に住む18歳以上の住民約2,000名（無作為抽出）を対象
- ・篠路駅周辺地区における都市機能の集積検討の参考とするために実施。

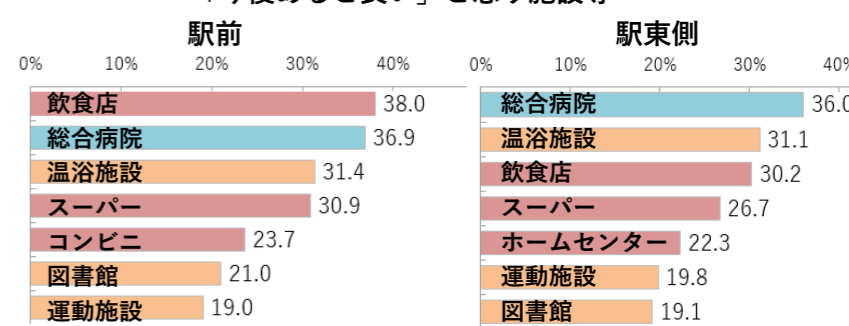
#### ■アンケート結果（主要な項目を抜粋）

- ・**これからの篠路駅周辺地区における施設や機能を考える上で重要だと思うこと**
  - 上位5項目は「買い物環境の充実」、「高齢者にやさしいまちづくり」、「子育てしやすい環境づくり」、「地域の多様な世代が交流する場の創出」、「働く場の創出」
- ・**駅前に、あなたの生活環境をより良くするために「今後あると良い」と思う施設等**
  - 上位5項目は「飲食店（喫茶店・カフェ、レストラン）」、「総合病院」、「温浴施設」、「スーパー」、「コンビニエンスストア」
- ・**駅東側に、あなたの生活環境をより良くするために「今後あると良い」と思う施設等**
  - 上位5項目は「総合病院」、「温浴施設」、「飲食店（喫茶店・カフェ、レストラン）」、「スーパー」、「ホームセンター」

駅周辺地区における施設や機能を考える上で重要だと思うこと



「今後あると良い」と思う施設等



### ⑤ 篠路駅東口駅前広場の在り方検討会議（H30～R1年度）

#### ■概要

- ・篠路駅東口駅前広場（以下、「駅前広場」という。）について、交通結節点としての機能及び利用者の安全性、利便性を確保するとともに、将来のにぎわい創出に向けた整備内容を検討するため実施。駅前広場の区域変更を求める提言書がまとめられた。
- ・学識経験者、地権者、連合町内会、地域のまちづくり活動団体、商店街など計14名で構成
- ・**まちづくりに関する付帯意見（抜粋）**
  - ・災害に強いまちづくりを推進していただくとともに、私たち地域住民も行動していきます。
  - ・篠路駅周辺において、周辺の土地利用状況や交通状況等を十分勘案したうえで、建蔽率や容積率といった土地利用計画の在り方について適切な検討をお願いします。
  - ・篠路駅周辺地区が地域交流拠点として相応しいまちとなるよう、にぎわいづくりができる駅周辺の整備やまちづくりの推進をお願いします。

### ⑥ 社会実験「シノロリビング」の実施（R3年度）

#### ■概要

- ・「居場所づくり」「コミュニティづくり」等の必要性に係るご意見や、駅前におけるにぎわい、交流の場を望む地域のご意見を踏まえて、地域主体のまちづくり活動の場の可能性を検証すべく、篠路駅東口周に広場を作る社会実験を実施。

#### 利用者

- ・8日間で計約400人が利用（休日の日中がほとんど）
- ・キッチンカーやワークショップがないと利用者はいない
- ・子供向けのワークショップ、フリーマーケットなど求める声

#### 運営面

- ・キッチンカーの売り上げは良好
- ・利用者の活動や出店者の声から場のデザインの重要性を（再）確認
- ・こういった場を求めている、続けて欲しい、参画したいという声も

#### 意向調査は？

- ・計81人からアンケート回収
- ・回答者は30～40代が最も多く次に、50代、20代と続く
- ・満足・まあ満足が約67%
- ・広場が必要と答えた方が約80%
- ・活用してみたいと思う、まあまあ思うが約70%